



半田市地域福祉計画 重点施策 課題を地域住民と行政で協議する場づくり

おいでやおっかわ (第3回) ダイジェスト

乙川中学校区ふくし井戸端会議

発行元：半田市 平成30年12月

ふくし井戸端会議とは地域の困りごとを地域のみなさんで共有する場です。発見した地域の課題について話し合い、解決に向けた具体的な取り組みを考えています。

今回は台風や地震などの備え（避難所や防災備品、避難経路の確認等）について、半田市防災交通課職員も交えて話し合いをし、防災意識を高めました。

日時：平成30年11月30日（金）

14時00分～15時30分

場所：上池公民館（上池町5丁目44-1）

参加者：22名（一般）

12名（事務局11名、講師1名）



今年の台風を振り返って

防災交通課職員から、今年の台風（21号、24号）の被害報告について話をしました。自宅が停電をした、避難所へ避難したという参加者もいらっしゃいました。雨風が強くなる時間帯が深夜であったこともあり、避難の仕方・避難所への移動について不安に思っている方が多くいらっしゃいました。防災訓練に参加し、防災意識を普段から高めておくことが大切です。

非常持出品を用意して備える

避難所へ避難をするために、防災備品を用意しておくことが必要です。防災備品の持ち物リストはインターネットサイトなどで紹介されていますが、人によって必要なものは違います。常備薬やおむつ、乳児食など避難する方の状態にあわせて用意することが必要です。今年は台風被害が大きかったため、これまで防災備品を用意していなかった方からも、これから調達して備えたいという意見が多く出されました。高齢者にとっては、重い防災備品をどうやって自宅から避難所へ運ぶかなどについて、あらかじめ考えておくことも必要です。

情報収集を大切に

災害時は避難所情報や土砂災害情報など、身を守るために必要な情報の収集が必要です。停電等で電子機器が使えなくなる前に、電話やインターネット、テレビなどから情報収集をしておきましょう。また、必要に応じて防災無線や防災広報車からの情報も活用しましょう。



お問い合わせ

半田市地域福祉課 TEL 0569-84-0641

半田市社会福祉協議会 TEL 0569-23-7361

